

(様式15)

対象住宅番号

B

1

3

2

9

6

8

0

1

3

1

0

←「補助金交付決定通知書」に記載の番号を正確に記入してください。

↑アルファベット(B又はT)がこの欄になります。

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上を対象住宅について報告する場合はシートを追加して作成してください。

採択要件への適合確認書(実績)【補助事業者及びグループ事務局記入用】

・対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

建築主氏名	◆田 ■朗、◆田 ●子
-------	-------------

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。
売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を

採択された地域型住宅供給対象
地域を正確に記入してください。

・採択された要件の確認(1)～【グループの基本情報】

地域型住宅供給対象地域	(採択された地域型住宅供給対象地域) 東京都・神奈川県・埼玉県	(建設地:都道府県名) 東京都	
使用した地域材	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称
	〇〇県産材	〇〇県	〇〇県産材認証制度
	合法木材	国内・海外	合法木材証明制度

※採択された地域材のうち、
対象住宅で使用した地域材
を記入してください。

地域材の名称、産地を
正確に記入してください。

↑ 適用申請書 様式2-1のA欄に記載の地域材の名称、産地、認証制度等の名称のうち使用した
ものを記入してください。 ※行が足りない場合は、この様式を複数枚作成してください。

・採択された

地域型住宅の生産に関する 共通ルール	具体的取組内容
地域型住宅の特徴等(性能や 地域性等)における共通ルール	積雪荷重を考慮した許容応力度計算による構造等級2以上の確保と住宅設計性能評価の取得 地質に応じた地盤調査を選定し実施
住宅生産の合理化・効率化に資する 取組、安定供給の長期維持体制、 グループの信頼向上に資する 取組における共通ルール	「標準見積書」を使用して消費者への提示・説明の義務化と契約書への記載 (株)〇〇総業との同一製品の大口契約による、住宅設備の仕入れ価格の値引き
グループの長期にわたる住宅 維持管理体制における共通 ルール	グループ共通の維持保全計画書を使用し、点検方法・診断基準に準じたメンテナ
住宅履歴情報の保存方法	契約時、〇〇住宅履歴サービスに登録に登録し、住宅履歴情報の蓄積の義務化
グループの技術力の向上にお ける共通ルール	地域型住宅の仕様説明会、長期優良住宅・設計性能評価研修会の実施参加の義務付け
地域材利用に関する共通ル ール	主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半にグループ指定の地域材を使用し、柱は4寸角以上の材を使用する 母屋・棟木・垂木・間柱の全てに地域材を使用する
地域材情報の共有、地場産業 等の積極的活用、街並みガイ ドライン等に関する共通ルール	〇〇市まちなみづくりガイドライン等に適合するように努め、〇〇市よりまちなみ保全新築住宅計画の認定を取得

採択された共通ルール
(具体的取組内容)は必
須要件です。
具体的取組内容は全て
記入し、対象住宅がこれ
らの内容に適合している
ことを確認してください。

↑ 適用申請書 様式3-1～3の共通ルール欄に記載の共通ルールを全て記入してください。

・グループ事務局確認欄

今回、実績報告を行う対象住宅について、補助対象となる住宅の要件や、採択要件(共通ルール、地域材の認証制度として有効なグループ構成員による供給等)等、地域型住宅ブランド化事業に必要な事項に適合していることを確認いたしました。

グループの名称・代表者名・所属・代表者印		事務局の事業者名・担当者名・担当者印	
(グループの名称) 〇〇木造住宅供給協議会	代表者印	(事務局事業者名) 〇〇〇建設協同組合	担当者印
(グループ代表者名) 長期 一郎		(事務局担当者名) 優良 二郎	
(グループ代表者所属) 〇〇〇建設協同組合			

使用する様式は正しいですか。
【H25】が記載されている様式です。

※【様式9】で使用了
印を押印してください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H25】地域型住宅ブランド化事業 採択要件への適合確認書(実績)